

## 審議（会議）結果

### 審議会等名称

第5回神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会都市公園部会

### 開催日時

令和3年4月23日（金）9：00～17：00

### 開催場所

神奈川県庁新庁舎12階県土整備大会議室

### 出席者【委員長・副委員長】

浦田 啓充【委員長】

飯島 健太郎【副委員長】

岡本 由美子

青木 利太

川島 裕子

### 次回開催予定日

令和3年5月7日

### 所属名、担当者名

都市公園課 計画グループ 中島

電話番号 045-210-6221（直通）

ファックス番号 045-210-8883

### 掲載形式

プレゼンテーション及びヒアリングの部分については議事録、選定評価の部分については議事概要

### 議事概要とした理由

本会議は、面接審査のうち、提案に係るプレゼンテーションと質疑応答については、「公開」とし、その後の「評価」を行う「協議」の部分については、指定管理者の募集・選定等に支障があると考えられることから、非公開により運営されたものである。

議事録を掲載することにより同様に指定管理者の選定に支障があると判断されることから、議事概要とした。

## 審議（会議）経過

### 1 会議の公開・非公開について

第3回委員会の決定に基づき、本会議の面接審査のうち、提案に係るプレゼンテーションと質疑応答を除き非公開とした。

### 2 応募団体によるプレゼンテーション及びヒアリングについて

#### (1) 辻堂海浜公園及び湘南汐見台公園 公園協会・オーチャー・サカタのタネ・小田急電鉄共同事業体

(委員) 防災の関係で、車椅子牽引補助装置を用いた適切な避難とあるが、具体的にはどのような避難経路を考えているのか。

(応募団体) 補助装置はリアカーのようなものを付けて、避難経路、マップに沿って、公園の北側出口から避難ビルまで誘導する。車いすだと階段が登れないので、エレベーターを使っている。もしそこまで間に合わない場合は、近隣にマンションにということを考えている。

(委員) 実際の訓練で、補助装置を使ったことはあるのか。

(応募団体) ある。

(委員) 交通公園、交通展示館について、この特色をもう少し生かしたアイデアを考えているか。積極的な構想があれば教えてほしい。

(応募団体) 公園協会と小田急電鉄で公園の魅力向上と公園を活用した街づくりを目指して連携協定を3月に締結したので、両者の強みを生かして、市民参加の促進や公園周辺のエリアマネジメントを行っていきたくと考えている。辻堂海浜公園では、乗り物や親子体験といったコンテンツをイベント等で行っているので、乗り物や親子体験といったコンテンツを、交通公園、交通展示館の利用促進として行っていく。ホームページやSNSを使った広報も展開していきたい。

(委員) 自主事業として軽食、キッチンカーなどの記載があるが、魅力あるメニューの提供など、どこまで管理しているのか。また、防災キャンプは新たな取組で評価したいが、詳しくお聞きしたい。

(応募団体) 利用者満足度調査で意見を聞いていて、多くのお客様から飲食できる施設を入れてほしいとのご意見を頂戴する。ただ、建物の構造上難しいため、キッチンカーを導入している。藤沢市キッチンカー事業者連絡協議会とも調整し、土日など集客がのぞめる日に導入したい。地域での地産地消ということで、地域経済の活性化を図って、地元の商工会、商店街とも連携しながら、お客さんが望む特徴のあるキッチンカーを提供していきたい。

防災キャンプは、プールの開業前に水辺の安全を学ぶ「絆プロジェクト」の際に、講師として来ていただいているプロのライフセーバーや近隣に住んでいる元消防士で防災アドバイザーをしている方に、指導をしていただき、ここ数年、キャンプブームということで、キャンプ道具や防災時に使えるようなものを持ち寄って、公園内にテントを張り、実際災害の時に役立つ企画を

考え、楽しみながら防災を学んでもらおうと思っている。

(委員) 管理実績はSが続き素晴らしいが、サカタのタネは今回初めて参加ということによいか。芝生や花の面で入ってもらったという理解によいか。

(応募団体) 今回から参加となっている。辻堂海浜公園は芝生広場が売りであり、湘南地区の中でもかなり大きなオープンエリアを有しており、イベント等の利用が多い分、芝の痛みが大きい。サカタのタネが入ることによって、芝の養生期間に花壇等を設置し、花を楽しんでいただくことを想定している。また、湘南汐見台公園の少年野球場もあり、芝の管理の面があつて入ってもらった。

(委員) どれくらいの頻度で、災害訓練をやっているのか。

(応募団体) 藤沢市として共同して一斉で行うものと、イベント開催前に関係者でも行っている。交通公園にスカイサイクルという乗り物があるが、これについてもすぐ降りられるように年3、4回訓練を行っている。

(委員) 松の維持管理については、どのようなことをするのか。

(応募団体) 黒マツが植栽されているが、公園ができてから半世紀立ち、高木化していることや周辺の住宅への景観の問題、年間を通じて松葉が落ちることもあり、毎週1回市道の清掃や剪定を行っている。それに加えて周辺の住民の方の意見も考慮に入れながら、対応していきたいと思っている。

## (2) 相模原公園 神奈川県公園協会・サカタのタネ・サカタのタネGSグループ

(委員) 公園内で障害者が働ける場を設けているか。雇用していない場合は、今後の対応を教えてください。また、閑散期、ライトアップなどした場合の警備などあるが、その辺りの対応を教えてください。

(応募団体) 現場では2名の方を直接雇用している。また園内清掃を地元の障害者団体に委託している。就業支援のトライアルとして3名をお願いしている。また、警備については、年間を通して、有人2名を通常配置している。冬季の夜間イベントはお客様の数が伸びずに保留していたが、夏は開催している。スタッフとともに安全対策をしている。

(委員) 園芸療法について、今後の発展をどう考えているのか、何か構想はあるか。また、これは公園側の衛生活動の延長線上なのか、医療保険の対象として、この活動が展開されているのか。

(応募団体) 公園の近くに相模原病院があり、病院が主体として公園の場を使っている。作業療法の場所を提供し、主体は医療機関となっており、協会はサポートしている。今後の発展は、患者さんが休憩できる場を提供することや、必要な道具を用意するなど、患者さんが行きやすい

環境をつくっていききたい。

(委員) フレンズ制度創設とあるが、これまでも具体的な要望があつて、今回制度として作つていくということか。今後はどのようにやっていくか。

(応募団体) 今までも地域の方の提案や要望によるイベントを行っている実績がある。公園の中だけでなく、外部の企業とも連携し、発展していきたいと考えている。

(委員) この制度の構築にあたって、公園に相談窓口を設置するとあるが、出向いて相談する形だけでなくインターネットを利用した相談はできるのか。またこういうことをやっているといった情報をSNSで発信するということもあるのか。

(応募団体) 当然、色々な媒体を使ってやりとりをする。担当を2名決めて、窓口を明確化して情報発信していく。

(委員) 温室は100円の利用料金となっているが、この価格設定の理由は何か。自動販売機だが、設置場所については、景観的に違和感がある気がするがどうか。

(応募団体) 入館者が伸び悩んでいたのが、思い切ってワンコインにしようということで気軽に入れるようこの価格になった。以前は250円だった。また、全て有料エリアだったが、無料エリアを設けた。

自動販売機の設置場所については業者と決めている。自然の中に人工的なものがぽつんとあるのはご指摘のとおりそぐわない面はあるが、今後は自動販売機の塗装の色も茶色とかに変えられるよう調整していきたい。

(委員) 施設の老朽化が進んでいる中で、どこを重点的に管理しようとしているか。

(応募団体) まずは事故のないように管理する。経験上気を付けなければいけない箇所もあるので、アナログ的にはなるが、まずは外観等を目視で確認をして、危険箇所がないか確認していく。危険箇所が見つかったら施設の改修にはお金もかかるので、県と相談し、対応を調整しながら進めていく。

(委員) 巨大化するメタセコイアの管理について、どういう方向性で対応しようと考えているか。

(応募団体) 樹木医による診断を行っているが、根がしっかり生えていることもあり、現在は多少の剪定で済んでいる。県の予算と調整しながら適切に管理していく。

(委員) 公園管理運営士などの有資格者の配置状況は、どうなっているか。

(応募団体) 園長が公園運営管理士となっている。今後も配置していく。

(3) 大磯城山公園 神奈川県公園協会・湘南造園グループ

(委員) スマートフォンを活用した多言語の案内という話があるが、外国人の方は来ているのか。目標はあるか。

(応募団体) 今までのところは、外国人のお客様はあまり来ていない。箱根への通り道となるので、外国人の方が増えてくる前提で、それに対応する形で進めたい。目標としては、何倍というものはないが、地道に努力しながら、多言語化を含めて来園者が増えるよう進めていきたい。

(委員) 地域の日常使いの公園というよりは、観光という施策をとられているが、湘南、県央との周遊性についてどのように考えているか。

(応募団体) 湘南邸園文化ツーリズムの中で横須賀から小田原にかけての邸園の1つとしてやらせていただいている。その中で湘南邸園文化祭では、大磯城山公園も参加し、国の明治大磯邸園とも連携をして、広域的な利用促進を図っていきたい。さらに公園協会の「富士・箱根・伊豆の皇室ゆかりの庭園ツーリズム」による広がりも視野に入れて取り組んでいる。圏央道ができたことや、交通機関が今後整備されていくと思うので、県央も視野に入れていきたい。

(委員) 基本的には、自動車での来園を想定しているのか。

(応募団体) そのように考えている。しかし、最近では駅からの歩きやバスの本数も増えてきている。また、駐車場はそこまで大きくはないが、明治大磯邸園の駐車場との相互利用ができ、周遊性が向上できると考えている。さらに、大磯プリンスホテルもあるので、周遊性に加えて、長く滞在していただき、町や商工会とも協力して利用促進を図っていきたい。

(委員) 駐車場の狭さやガイドのエリアの拡充の移動の問題については、明治大磯邸園と相互利用して解消していくということでしょうか。

(応募団体) その点と、大磯町運動公園に広い駐車場があり、そこを電話で連絡を取り合っており、逆に大磯町運動公園にイベントがある際には駐車場を貸すなどして協力し合いながら町全体で対応している。

(委員) 自転車の方も増えていると思うが、その辺りはどうか。

(応募団体) 駐輪スペースが用意しており、最近ではレンタサイクルの駐輪にも対応している。レンタサイクルについては、大磯城山公園以外に町内に停めるところが複数あり、自転車の動きがかなり激しいことから、自転車の利用は多いと考えている。

(委員) 消防防火訓練は、定期的に行っているのか。文化財の消火訓練はどうか。

(応募団体) 基本的に年1回は防災訓練を実施している。あとは町の方で開催しているものに参加している。心配のある津波については、地元の方も入れて、実際に車いすの方を高いところ

までの避難を体験していただくような訓練をやっていきたいと考えている。文化財の指定は最近受けたばかりで、去年はコロナの関係で町の方から連絡があり、訓練できなかった状況である。コロナが落ち着き次第実施していききたい。

(委員) 旧吉田茂邸といった歴史的なところもあるが、その辺りも含めたプログラムの設定は考えているのか。

(応募団体) 吉田茂邸と郷土資料館については、指定管理ではなく大磯町の管理となっている。なので、大磯町で行う企画やイベント等でパンフレットの配布や公園内に案内を出すなどの協力をしている。また、七賢堂の開扉を行う際は、大磯町と連携して七賢人にまつわる講演会などを開催している。今後とも大磯町と連携して、様々な企画を展開していきたいと考えている。

(委員) コロナの影響で利用者が減っているが、中止しているイベント等どういった状況か。

(応募団体) 緊急事態宣言時は、駐車場を閉鎖したことや12月のもみじのライトアップも中止にしたため、利用人数は大幅に減少した。コロナ対応をしながらのイベント開催も検討をしたが、公園は色々な入り口があり、全員の検温等把握できないため、見送った。50件以上あったイベントも、昨年度は10件ほどしかできなかったため、そういう意味でコロナの影響で人の流れが大きく減少した。

(委員) 高齢者への対応したバリアフリーの園路の整備とあるが、指定管理者としてできる範囲が限られているのではないか。具体的にはどのようなことを行うのか。

(応募団体) バリアフリー園路の整備は県の方で行っている。それ以外の細かい手すりなど、県と協議しながら、対応していきたいと考えている。

#### (4) 七沢森林公園 (公財)神奈川県公園協会

(委員) コンプライアンスの関係で、公園内での障害者の雇用の場はあるか、ない場合は今後設ける予定はあるのか。また、森林火災への対応、ヤマビルが多い理由やその対策はどのようになっているか。

(応募団体) 現在、公園内での雇用はない。今後考えられるのはトイレ清掃であれば、働くことは可能と考えている。料金徴収の手伝いなどできるものがあれば、幅広に検討する。

森林火災については、消防の分署と連絡をとっている。年に何回か来てもらい、看板などを設置してもらっている。注意書きもあるが、たばこを吸う人がいることから、東屋、またバーベキュー場に消火器を置いている。

また、ヤマビルが増える理由だが、山間部に隣接していることから、シカやイノシシが降りてくる時の通り道で、これら獣と一緒に入ってしまう。人に近くなる、園路に近い部分は落ち葉をとって、生息しにくいように対策している。塩ボックスや酢を置いたり、注意喚起のパンフレットを作成したりしている。ビーチサンダルで来る方もいるので、靴を履くように注意を促してい

る。

(委員) 森林セラピーは元々、林野庁が全国的に広く展開していたが、これまでどうやってきたのか。またこれからの展開は、どのようになっているのか。

(応募団体) 今は、かながわフィールドスタッフという団体の資格を持っている方に講師をお願いしている。始まる前にまずボディチェッカーで測って、ストレスや血液、血管年齢など現在の状況を知る。森林セラピーが始まる前に体操し、今日はどのようなことをやる、例えば気功、中には太極拳もあるというように、色々なコースを説明して、コースをまわって実施した後にも、ボディチェッカーで確認して、数値で効果を確認してもらう。

(委員) ストレスチェックは唾液による確認か。

(応募団体) 唾液検査ではなく、ボディチェッカーという機械を用いている。

あと、森林セラピーの中で、人気があるのはハンモック。このハンモックは、東日本大震災の際に仕事ができなかった宮城の漁師さんをお願いして作ってもらった特殊なものになっている。今度新しいものも作ってもらう。今後は、厚木市の観光協会とも相談しているが、薬膳ランチの提供も考えている。体に優しいものを食べてもらって休んでもらおうと考えている。

(委員) 病院や保健所との連携はしているのか。単発でセラピーを受けるのではなく、モニタリング的に受けてもらい、長期的な効果を測るといったことは考えているか。

(応募団体) 将来的にはヘルシーパーク的なことも考えられるが、病院との連携はできていない。

(委員) セラピーということだが、ルートには傾斜があり、結構体力を使う。また、七沢温泉がある、温泉への案内が分からなかった。分かりやすく連携する工夫はあるか。

(応募団体) 温泉組合と協定を結んでおり、駐車場、バーベキュー、工芸教室、クラフト体験を利用していただいた方には、温泉の割引券を出している。温泉の方でも公園に行くと割引券があると案内している。しかし、残念ながら、今はコロナの関係で日帰り温泉をやらないところが増えており、できていない。コロナが収束するまでは難しいと温泉協会とも話している。

(委員) 全体的な構想としては、素晴らしい。初めて行った人でも、簡単に回れるようになれば集客力になる。

(委員) 将来を見据えた森林更新を提案しているが、次の指定期間の中で、モデルエリアとしているところを皆伐して、あとは天然更新するようなことを計画しているのか。

(応募団体) 伐採するイメージではあるが、全て切ってしまうのではなく、間引きするようなイメージで、森林の形は残しつつ、手入れをしていく。

(5) 津久井湖城山公園 神奈川県公園協会・サカタのタネ グリーンサービスグループ

(委員) 障害者雇用に取り組んでいるが、当該公園での就労者はいるのか。雇用計画はあるのか。また、QRコードを活用したセルフガイドツールの詳細を教えてください。

(応募団体) 当該公園での障害者の就労者はいないが、障害者就労支援施設に月1回、公園の清掃業務を委託している。引き続きこの取組を続けていきたい。また、QRコードについては、歴史的なスポットでは看板でも説明しているが、より詳細な説明をスマホでQRコードを読み込むことで知ることができるようにしている。次期の指定管理期間では、自然的なスポットでも同様の取組を予定している。現在でも、既に10か所以上のスポットが存在している。

(委員) 公園に学芸員を配置するとのことだが、どのように活用し、特色ある公園づくりに活かしていくのか。

(応募団体) 当該公園は、津久井城という城跡にあり、埋蔵文化財が豊富にあるだけでなく、里山の自然豊かな公園である。現在でも学芸員を1名配置しており、様々なイベントを企画したり、展示室で解説をしたりすることで、来園者に学習してもらう機会を提供している。現在の取組を、さらに拡大してやっていきたいと考えている。

(委員) 水といこいのゾーンから、パークセンターのある歴史と里山の体験ゾーンに行くには、距離もあるし道がわかりづらい。両ゾーンを利用する人はどれくらいいるのか。両ゾーンを結びつける事業や工夫はあるか。

(応募団体) 現状、両ゾーンをともに利用する人は少ない。花の苑地から国道沿いを通っていくルートがあるので、案内を強化したい。両ゾーンの利用層はそれぞれ異なり、これらを周遊する人は少ないが、今後、周遊をしてもらえるよう取組をしていきたい。

(委員) 観光センターのトイレなど、公園内のトイレの事情について教えてください。

(応募団体) 観光センターは当該公園の施設ではないが、水の苑地と城山のトイレについては、シルバーセンターに委託し、週4回清掃を実施している。また職員のパトロールの際に適宜清掃を行っている。公園利用者のアンケートでは、トイレの清潔さについて高い評価を得ている。

(委員) 新しいプログラムとして野菜大学プログラムがあるが、地元は高齢化が進行していて、近隣からの参加は難しく、遠方からの利用者が中心になるのではないかと思う。また、ゆくゆくはボランティアに参加してもらおうとの記載があるが、実現可能なのか。野菜栽培をやりたい人の需要はあるのか。

(応募団体) 現在、20名ほど畑のボランティアを行ってもらっている。ただ、ボランティアの高齢化が進行している。実際のところ、遠方からの参加は難しいので、近隣の方に継続的に参加

してもらい、ボランティアになってもらえればと考えている。野菜栽培に興味があるとの声が最近植えているので、ある程度は人が集まる見込みはある。技術的な面は、サカタのタネグループの指導を受けながら取り組んでいきたい。

(委員) GPSを活用した動植物の分布調査や、モニタリングを行うとのことだが、具体的にどうということか。

(応募団体) 現在すでに、購入したGPSの機械を用いて動植物の生息状況などを調査し、マップに落とし込む取組を行っている。そうすることで、誰でも何がどこに生息しているかを把握でき、問題が起きても対処することができる。今後も継続していきたい。

(委員) 植生状況を踏まえて樹林地の更新計画を立てるということだが、次期指定管理期間内では、どのような計画を立て、何を実行するのか。

(応募団体) 現在、当該公園では老木化が進行し危険木が増加している。現在も調査を行っているが、次期指定管理期間でも調査を続け、専門家の意見を聞きながら樹林更新計画を策定し、実行に着手したい。

(委員) 罌堂桜とは何か。

(応募団体) 旧東京市長であった津久井出身の尾崎行雄(罌堂)が、アメリカのポトマック河畔にサクラを寄贈したのが由来であり、その戻り桜が当該公園を含めてこの地域に植えられている。地域では、千本桜プロジェクトとして、植樹活動も行われている。

#### (6) 茅ヶ崎里山公園 神奈川県公園協会・小田急ビルサービスグループ

(委員) 夜間警備が年間133日とある理由は何か。また、閑散期の取組の具体的内容を聞きたい。

(応募団体) 夜間警備については、学校が休みの期間、ゴールデンウィーク、シルバーウィーク、年末年始、土日のみ行い、平日は原則として行わない。当該公園は夏と冬の利用者が少ない。全体として南側の利用が多く、北側の利用が少ない。平日は学校の遠足利用はあるが、全体的な利用者は少ない傾向にある。

また、夏の閑散期対策としては、バーベキュー場の利用の活性化、平日の学校利用については、環境教育とバーベキューをセットで利用してもらおうことを考えている。加えて、全体的な取組みとして、「湘南花の里づくり」として、公園内の花を活かした公園づくりを目指していきたいと考えている。

(委員) 自主事業について聞きたい。キッチン里山については収支計画の記載がないが、応募団体はお金を出さず、連携する団体のみがお金を出すのか。また、デイキャンプスペースについては、設備投資はあるのか。

(応募団体) キッチン里山についてだが、そもそも公園内で食事出来る場所がないという声が多く、設置した。また、ボランティアの地域連絡協議会から軽食堂をやりたいとの声をもらっていた。ボランティア団体であるので人件費はかからず、食材費のみである。使用許可使用料などの経費は市の補助金が出るので、それで賄える見込みとなっている。ボランティアには、食品衛生管理士の資格を持った者もいる。デイキャンプについては、道具を持ち込み、場所だけ借りたいという声が多いので、水道などはバーベキュー場の設備を活用し、新たな設備投資はしない。基本的には場所貸しである。

(委員) 茅ヶ崎北部地域の活性化との記載があるが、近隣住民の利用による活性化なのか、遠方からの利用による活性化のどちらを重視しているのか。

(応募団体) 公園自体が茅ヶ崎北部に位置し、農家が多い。地域連絡協議会は周辺住民で構成され、公園の活性化が地域自体の活性化につながるということで、活動している。その活動を後押ししたいということである。また、公園は南北に長く、南側に遊具があるため、南側の利用が多い。

(委員) エコパッチの活用は重要だと思う。エコパッチは複雑なマネジメントを必要とするが、生態系維持には重要である。また、年間を通しての管理計画はあるのか。また、当該取組など生態系保全について啓発活動を行う予定はあるのか。

(応募団体) 公園は3つの区域に分かれており、利用促進区域、近代的里山区域、伝統的里山区域があり、伝統的里山区域において生態系の保全を行っている。その中で保全エリアを設けて、地元ボランティアが環境保全活動を行っている。そういった活動にあわせて、エコパッチを活用するなどしている。

(委員) パークセンターの貸会議室は無料か。貸出の基準はあるのか。

(応募団体) 利用申込書に利用条件を記載し、それに合致しない場合は貸し出さない。条件は公益的な活動や地域活性化のための活動などに限定されている。

(委員) 新規で提案している親子向けの自販機を設置するとのことだが、需要はあるのか。地元企業を活用するとのことだが、どこの企業か。

(応募団体) 公園の南側は親子連れが多い。食事ができるスペースがないとの声が多かったので、今回設置することにした。企業は平塚の企業である。

(委員) 中央の谷の家は、イベント時以外の活用はどうするのか。

(応募団体) 谷の家は、イベントがないときは、常時開放している。また、公園ボランティアの活動拠点として利用されている。

(委員) 軽食堂の横に、小さな売り場スペースなどを設けることはできないか。

(応募団体) 天候により売り上げが左右されるので、仕入れを伴うものの販売は難しい。繁忙期にはキッチンカーの展開を考えている。

(委員) こういったスペースを活用して、地元企業との連携を図ることは重要だと思う。

(委員) 公園管理運営士を2名配置するとのことだが、体制は現在と同じか。今後も同様の予定か。神奈川県公園協会では各公園に2名程度配置できる体制なのか。

(応募団体) 現在も2名である。次期指定管理期間も同様とする予定。すべての公園に2名以上公園管理士を配置できるほどの要員はいない。

(7) あいかわ公園 (公財) 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団

(委員) あいかわ公園は、道路でのアクセス性に課題がある。イベント時の渋滞対策などはどう考えているか。

(応募団体) 混雑時には、案内員を配置した誘導や、看板を設置したりしている。基本的にはマンパワーで対応している。また、コロナ対策で駐車場が満車になると密になるため、あらかじめ2つの駐車場のうちの、1つしか使用せず、密にならないようにしている。

(委員) 駐車場の時間制限を設けたりしているか。

(応募団体) 設けてはいない。人の回転も大事であるが、公園に来て楽しんでもらうことや、コロナでのオープンスペースとしての役割も大事なため。

(委員) 地形的に奥深く、自家用車利用が多いと思われるが、公共交通機関利用の呼びかけなどは行うのか。

(応募団体) あいかわ公園に直接行ける公共交通機関や、宮ヶ瀬湖には周辺を周遊する公共交通機関がない。自社で所有している遊覧船で移動してもらう方法がまずある。春や秋の時期には、神奈中に委託し、無料のシャトルバスを運行してルートを変えるなどの工夫をしている。一方、道路の構造上、根本的な改善はなかなか難しい。

(委員) あいかわ公園は、多くのイベントが行われ人気のある公園であるが、月1回のふれあいミニ動物園というのは何か。

(応募団体) 他の団体と連携し、その都度ウサギなどの動物を連れてきてもらっている。コロナ禍もあり、最近では昆虫類の触れ合いイベント、野鳥の観察会等を、5~10人程度の参加人数で行っている。

(委員) これからの時代は、動物福祉が重視されると思うので、動物に負担をかけない仕組みであればよいと考える。

(委員) 利用料金収入の中心は何か。また、駐車場料金の減免制度はあるのか。

(応募団体) 利用料金は、織物や紙すき、染織体験ができる工芸工房村の実費・参加料収入が中心である。駐車場は障害者等の利用については、減免ではなくそもそも無料としている。

(委員) 事故・不祥事対策で、特に個人情報保護の内容が足りないのではないか。具体的な対策、ガイドラインなどはあるのか。

(応募団体) 具体的なものとしては、FAX送信時のダブルチェック、メールは全てBCCで送る、他人の給与情報等をみだりに見ない、などである。

(委員) そういったもののチェックリストはあるのか。

(応募団体) チェックリストは用いていない。

(委員) 個人情報の取扱いについて、ますます重要になっていく。そういった中での提案書の記載としては、もの足りないと思われる。

(委員) 様々なイベントが行われているのは分かるが、新たなイベントの取組提案はないか。取組の内容は、できるだけアップデートしていくことが望ましいと思われる。

(応募団体) 提案書には、通常時の状況における取組を記載しているが、コロナ禍が続けば、大規模なイベントの開催が困難になってきているものもある。時間帯の分散や、5～10人くらいのミニ観察会などの開催を増やしていきたい。また、最近の取組としては、スケートボード教室や、ボルダリング教室を実施している。そのほか、大規模に集めるよりも、ハイキングやヨガといった10～15人くらいの小規模のイベントを増やして、新たな時代に対応し、公園利用者の満足度を増やしていきたいと考えている。

(委員) 公園管理運営士・土木施工管理技士は、後援でなく本部にいるのか。

(応募団体) 本部にいる。

(委員) 事故時の対応の手順は、どうなっているのか。

(応募団体) 原則として作業は複数名で行うようにしている。公園利用者の事故・病気については、救急救命士を複数雇用して、初期対応を行うようにしている。また、公園内にAEDも設置している。また、全職員が毎年救急救命講習を受講している。

(8) おだわら諏訪の原公園 おだわら諏訪の原公園パートナーズ

(委員) 障害者雇用の状況と公園での雇用の予定について聞きたい。また、取組中のもので、ほしぞら映画会と熱気球の内容について聞きたい。

(応募団体) 現在グループ代表は、3%以上の障害者雇用をしている。伊豆箱根鉄道では法定雇用率を達成していないが、今後清掃スタッフだけでなく、事務職へも採用対象を広げ、自社サイトだけでなくハローワークや外部サイトも使って、障害者雇用に取り組んでいきたい。また、現状当該公園で採用実績はないが、こちらも考慮したい。

当該公園は広大な芝生があり、そうした空間を空から活かしたいという考え方をもっている。視点を変えて公園を見てもらう取組として提案している。既に開催実績があり、次期指定管理期間でも継続していきたい。

(委員) 当該公園は、日常利用から週末のレジャー利用まで幅広い層に利用されていると感じている。アクセスの点だが、バス停の移動は、前回提案時でもあったと記憶しているが、今回のバス停の移転とは違うのか。

(応募団体) 前回の提案とは違うものである。利用者からバス停移動の要望が増加しているので、さらに利用の多いパークセンターに近い場所にバス停を移動させるものである。

(委員) 前回提案時のバス停移動の評価は、どうだったのか。

(応募団体) 概ね利用者からは好評であった。さらなる移動の要望が増えてきたことから、今回、さらにバス停を移動させるものである。

(委員) 収支計画の自主事業で、バーベキュー、ドッグラン、移動販売車とあるが、移動販売車の収支の記載がないと思われる。これはどういうことか。

(応募団体) 移動販売車については、自主事業ではなく利用促進イベントとして行うものと考えている。

(委員) 移動販売車の売上はどうなるのか。

(応募団体) 現在の指定管理では、売上の10%を販売者から徴収しているが、今回の収支計画には記載していない。実際の収入があれば、報告し収支実績に記載したい。

(委員) 伊豆箱根鉄道の障害者雇用の表と、文章の記載の整合がとれていないように思われる。

(応募団体) 伊豆箱根鉄道では、法定雇用率が未達成だが、グループでは達成しているとの認識である。おそらく重度障害者のカウントの関係ではないかと思われる。今後の障害者の採用については、採用職種の拡大や職場見学、職場体験などを積極的に行っていきたい。

(委員) 未病改善イベントなど県が推進している施策を提案に取り入れているのは、好感が持てる。そこで、未病いやしの里の運動の駅として公園を活用するとの記載があるが、その内容について聞きたい。また、果樹園ゾーンのみかんなどの収穫体験は有料なのか、内容を聞きたい。

(応募団体) 運動の駅の関係だが、それぞれの健康状態に合わせた運動が必要なので、それに合わせたプログラムを作成していきたいということである。また県自身が未病改善の中心を県西地域にもってきているので、開成町・中井町と連携して、運動をする拠点として公園を使ってもらうことを考えている。

果樹園については、現在みかんとキウイの果樹園となっている。地元の「みかんの会」と連携をして、有料のイベントもあるが、無料でみかんを配るイベントを中心に活動している。今後も地元の農家とも連携して、管理をしていきたい。

(委員) 小田原フラワーガーデンとの連携とあるが、管理主体や連携の内容は。

(応募団体) 令和3年4月から、弊社が小田原フラワーガーデンのグループ代表企業になった。小田原フラワーガーデン自体は、バラやウメの植物園で開花のシーズンは賑わうが、利用者にとっては当該公園と一体のものとみられている。そこで、そうしたバラやウメ以外の季節でも公園と連携してイベントを実施するなど、一体的に活動することで相乗効果を高めていきたいということである。

(委員) 公園の所長は、公園管理運営士で現場にいるということか。

(応募団体) そのとおり。

#### (9) 境川遊水地公園 神奈川県公園協会・サカタのタネ グリーンサービスグループ

(委員) 遊水地ということで川が近くにあるが、水辺の事故の対策はどうなっているのか。

(応募団体) 大雨警報が発令されたときは、公園自体を閉園することとし、利用者に避難を呼びかけ、全員の避難を確認してから公園を閉園することになっている。

(委員) 公園を閉園した実績は、どうなっているか。

(応募団体) 最近10年間で、年平均2～3回ほど越流により公園を閉園している。藤沢土木事務所と24時間体制で連携し、水防体制をとっている。

(委員) ビオトープ・芝地で農薬を使用しないとのことだが、大丈夫なのか。

(応募団体) ビオトープには、野鳥が100種・魚の種類も多いので農薬は原則使用していない。

(委員) もし農薬を使用する場合の指針などはあるのか。

(応募団体) グループ企業の技術指針として、極力農薬を使用しないように管理している。もし農薬の使用が必要な場合には、県と協議し安全性や影響を確認したうえで使用する。

(委員) 未病改善の取組について、詳しく教えてほしい。

(応募団体) 誰でも参加可能なパークヨガやグラウンドゴルフなどのイベントを計画している。

(委員) 近年、今田遊水地ができたが、こちらは利便性が高い。他の2つの遊水地との回遊性を高める工夫はあるか。

(応募団体) (仮称) 境川遊水地タンチョウクラブを立ち上げ、ボランティアと連携して今田遊水地から3つの遊水地を通って戻るような、野鳥観察ルートをつくりたいと考えている。また、3つの遊水地を記載したウォーキングマップを、今年度中に作成する予定である。

(委員) 鶴見川や引地川の河川管理者と協議をして、最新・最善の管理をするとの記載があるが、具体的な取組の内容は。

(応募団体) 近年の課題は、越流により堆積した土砂の撤去である。現状、基本的には人海戦術で土砂を撤去している。機械を使用するなど効率的に土砂が撤去できないか、土木事務所とも協議している。常に情報共有しており、より適切な管理を目指したい。

(委員) 公園管理運営士の常勤2名配置とあるが、現状と同じか。

(応募団体) そうである。

(委員) 運動公園部分の事故の防止対策は、どうなっているか。例えば、未成年のみの利用はできるのか、職員のパトロールはどうなっているか。

(応募団体) 夏の時期に、熱中症警戒発令時には、ペナルティなしで施設利用を中止するかの確認を行っている。また、大雨や雷の注意報発令時も同様である。基本的に運動施設は、中学生以上でないと利用できない。職員のパトロールは、1日3回実施している。

(委員) 近くにサイクリングロードがあるが、歩行者とのすみわけはどうなっているか。

(応募団体) サイクリングロードは、公園外で道路管理者の管理となっている。ウォーカーやランナーと、自転車、自転車同士のトラブルが発生していることも承知している。ただ、管轄が違うため、直接の注意はできないが、情報は道路管理者に適宜伝えている。

今回、ポケットパークというサイクリングロードに隣接した小さな公園があり、サカタのタネに協力してもらって花を植えた撮影スポットをつくっている。そこに合わせて利用者向けの啓発

文をのせるなどして、注意喚起を行うことを考えている。

### 3 協議について

2の内容をもとに応募団体の提案等の評価を決定するための協議を行った。